



(表 - 2) 2002年4月の望遠鏡流星の出現数変化  
 Table 2 Telescopic Meteors Observational data in April,2002

それぞれの観測者が観測に用いている器械が違いますので、出現数の比較は簡単にはできませんが、同じ時間帯の観測があればある程度の傾向を掴むことができます。

今月の観測では、同じ観測時間帯の観測はありませんでした。

### 光度分布

4月の光度分布を紹介します。これによって観測者がどの程度の流星を捉えているのかを把握することができます。

	-3.0	-2.0	-1.0	0.0	1.0	2.0	3.0	4.0	5.0	6.0	7.0	8.0	9.0	10.0	11.0	12.0	13.0	L-Mag	Total	Avg Mag.
長田 (Osada.K)	0				0	0	1	0	0	1	1	2	1	0				11.0	6	6.83
佐藤 (Satoh.T)		0	0	0	4	12	20	42	35	6								5.5-7.3	119	3.92
寺迫 (Terasako.M)	0													2	5			12.0	7	10.71
松本 (Matsumoto.Y)	0																	10.0-12.0	0	ERR
渡辺 (Watanabe.S)	0				0							1				0		9.0-11.5	1	8.00
Total	0	0	0	0	4	12	21	42	35	7	2	8	1	2	5	0	0		139	4.59

(表 - 3) 2002年4月の望遠鏡流星の光度分布  
 Table 3 Magnitude distributions of the Telescopic Meteors in April,2002

## 第43回流星会議（一戸流星会議）参加申込〆切目前！

8月3日（土）から5日（月）まで標記の流星会議が岩手県一戸町で開催されます。参加申込みは、7月10日が〆切となっています。まだ申し込まれていない方は、大至急参加申込の手続きをお願いします。